

令和元年度

# 事業報告書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

## 目 次

要旨	1
<b>I 公益目的事業</b>	<b>2</b>
1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業	2
(1) まちづくり振興	2
(2) まちづくりセンター	7
2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業	10
(1) 長寿の郷ロクハ荘	10
3. 環境及び公園緑地等に関する事業	13
(1) ロクハ公園等	13
4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業	16
(1) 文化ホール	16
(2) スポーツ振興	22
5. その他	24
(1) 事業団ファンクラブ	24
(2) コミュニティ放送公益活用推進	24
<b>II 収益等事業</b>	<b>26</b>
1. 公共施設管理	26

# 要 旨

令和元年度の公益財団法人草津市コミュニティ事業団（以下、「事業団」という。）は、草津市協働のまちづくり条例に位置付けられた中間支援組織としての役割を果たすため、「アクションプラン2018」に掲げるビジョン“市民に愛され、草津で末永く協働のまちづくりを推進していきます”の実現に向け、まちづくりを支える「オンリーワン」の組織として、地域や各種団体等の多様な主体からの共感や信頼を基盤とした「事業団ブランド」の確立を目指し、様々な事業を展開してまいりました。以下、事業計画に記載した3点の【重点事項】に沿って事業の概要を報告します。

## （1）事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”の追求

協働のまちづくりを市と共に進める中間支援組織として、市の協働推進計画に基づく中間支援の充実を図りました。地域まちづくりセンターの指定管理者であるまちづくり協議会については、前年に続き「会計・税務・労務等サポート業務」によるきめ細かな研修、多様な相談への対応、Q&Aサイトの創設を行うとともに、市と調整して次期指定管理を見据えたサポート体制を確定しました。

市民公益活動団体の交流については、まちづくりセンターの移転を控え、今年度の「パワフル交流・市民の日」を区切りとして、これまでの歩みを振り返る場としました。また、人材や団体の育成支援では、多様なテーマで講座等を開催するとともに「ひとまちキラリ助成事業」の制度設計を見直し、伴走型で資金支援を行う助成団体の採択を行いました。

まちづくり情報の発信では、情報誌「コミュニティくさつ」の発行や下半期から放送開始したえふえむ草津の番組「くさつ☆コミュニ Tea Time!!」を活用して、地域まちづくり協議会や助成採択団体の活動を取り上げるなど事業団内で連携し幅広くお伝えしました。

## （2）組織の足腰を強くする経営・人材マネジメントの強化

各指定管理施設では、施設の特徴に応じて公益活動支援など、市の政策を支援する事業を実施するとともに、適正な管理運営を行いました。また、指定管理の更新年次であったまちづくりセンター・長寿の郷ロクハ荘・文化ホールは、「政策支援型」の提案による指定決定、指定管理期間の延長により、次年度以降も事業団が施設管理を継続することとなりました。

人材マネジメントでは、全職員がアクションプランを意識して取り組むように評価制度を見直すとともに、優秀な人材を長期に確保できるよう有期契約職員の雇用制度を改正しました。

## （3）戦略的な情報発信とブランド力の強化

戦略的な情報発信では、えふえむ草津の番組に市民が主役として出演してもらい、地域密着型のFM放送局をアピールするとともに、視聴者の友人や知り合いなど身近な方が番組出演することでコミュニティFMやまちづくり活動への市民の関心を高めました。また、情報誌など既存の媒体とも取り扱う情報をリンクさせることで、情報をより深く掘り下げ戦略的かつ重層的な情報発信を展開しました。

## I 公益目的事業

### 1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業

#### (1) まちづくり振興

(執行済額／予算額 24,365／25,837千円)

草津市協働のまちづくり条例により指定される中間支援組織として、同条例の推進計画に基づき、地域まちづくり協議会や市民公益活動団体等のまちづくり活動をサポートする各種事業を実施しました。

#### A. 市民公益活動団体等の交流促進

##### 「パワフル交流・市民の日」の実施

市内で活動する市民公益活動団体の交流イベントとして「パワフル交流・市民の日」を実施しました。会場である「まちづくりセンター」が令和3年に（仮称）市民総合交流センターへの移転を控えているため、今年度をファイナルとして区切りをつけ、当該事業のこれまでの歴史をふりかえり今後に歩みを進めることをコンセプトとした内容で、市民活動団体を中心とする13団体で構成する実行委員会にて企画運営を行いました。

実 施 日：11月30日

会 場：市立まちづくりセンター

参 加：42団体 約350人

実行委員会：4回開催 参加団体説明会1回開催

#### イ. まちづくりに関する情報の収集および発信

##### ① まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行

草津のコミュニティの現状や課題、特色あるまちづくり活動を紹介するまちづくり情報誌として「コミュニティくさつ」を市民編集ボランティアの協力のもと、編集・発行しました。若い世代の取り組みや定年後の地域との関わり方などの特集を組み、幅広い年代層の読者の獲得に努めました。

今年度は特に、えふえむ草津など他のメディア媒体と連動させ、より重層的で効果的な情報発信に取り組みました。また年度末には平成30年度発行分との合冊版も発行しました。

##### 【各号概要】

		発行部数
• 6/15号	「私、キックオフ宣言」	59,700部
• 9/15号	「私と家族のカレンダー」	59,700部
• 12/15号	「縁あって、同じまち。」	59,700部
• 3/15号	「あしたへ、芽びく。」	59,700部



##### ② 市民活動団体情報つながりのめ

市内の市民活動団体の把握と団体間のつながりづくり、またボランティア参加の促進などを目的に団体の基礎情報を収集し、冊子およびホームページにて発信しました。特に今年度は市教育委員会にも協力いただき、調査対象を社会教育関係団体まで広げ情報の充実を図りました。

##### 【発行概要】

・発行日 9月1日 掲載団体数 271団体 発行部数 500部



### ③ まちづくり協議会 HP 運営サポート

地域まちづくり協議会運営の透明性の確保と地域住民への情報発信をサポートするため、希望する 12 学区のまちづくり協議会の HP サポートを行っています。

今年度は協議会が発行する情報紙ページのカスタマイズを行い、住民の地域への関心をより高めるとともに、まち協用の Web サーバを整え、すべてのデータを移行させリスク分散にも努めました。また、協議会の指定管理受託に併せて進めている地域まちづくりセンターHP の提供については新たに 2 地域より受託しました。

【新たに HP 作成を受託した地域】老上西、常盤

### ④ 事業団提供番組「くさつ コミュニ tea time!!」

地域まちづくり協議会や市民公益活動団体の新たな情報発信の場として、えふえむ草津を活用し市民自らが出演するまちづくり情報番組を 10 月より月に一回提供しました。毎回、事業団にてコーディネートしながら、まち協や NPO など 2 団体ずつ出演（収録）いただき、パーソナリティとのやり取りを通じて活動や団体の PR に活用いただいている。

#### 【番組概要】

放送日 : 毎月第 1 金曜日 13 時（再放送 3 回）

コンセプト : “市民自らが出演する FM 番組”

パーソナリティ : 中嶌裕恵氏

出演団体 :



10 月 4 日 笠縫まち協／老上西まち協

11 月 1 日 矢倉まち協／CH 北山ヘアカット研修会

12 月 6 日 山田まち協／草津湖岸コハクチョウを愛する会

1 月 3 日 ボランティアグループ泉／駒っ子の会

2 月 7 日 まちセン運営協議会／おとのわ

3 月 6 日 草津手をつなぐ育成会「よかサポ」／ダンスサークル RAY

## ウ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング

### 相談窓口・協働コーディネーターの設置

地域まち協や市民公益活動団体などによる多岐に渡るまちづくり相談に対応しました。市から受託している「地域まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務」では、今年度も会計や労務に関する相談が大きな割合を占めてはいるものの、まち協職員の習熟や類似する相談等をまとめた Q&A サイトを作成したことなどにより、前年度よりも質問件数が減るなど自立に向け前進しつつあります。

また、高度な相談に対しては専門性を有する NPO に委託し、協働コーディネーターを配置して事業団職員とともに対応しました。特に今年度は、笠縫学区まちづくり協議会に対して地域まちづくり計画の改訂にかかる支援を行いました。

＜職員による相談対応＞ 420 件（前年度 565 件）

まち協 会計・労務等に関する相談	322 件
まち協 HP に関する相談	34 件
活動取組・事業企画に関する相談	21 件
団体や人の紹介	13 件
その他	30 件

## ＜協働コーディネーター実績内訳＞

### ●事業団

- ・資金調達に関する相談
- ・NPO 法人立ち上げに関する相談
- ・まちづくり協議会地域まちづくり計画の見直しサポート
- ・まちづくり協議会向けガイドの冊子編集
- ・企画講座講師



### ●草津市

- ・草津市協働のまちづくり推進計画策定に関する相談対応
- ・草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会開催に伴う事前事後の相談対応
- ・協働事業調査に係る助言

## 工. まちづくりに関する人材育成および研修

### ① ひととまちの未来をつくるカレッジ

市民活動団体や地域まち協が組織運営や事業の企画運営など、活動に必要なスキルの獲得につながる人材育成の機会として「スキルアップ講座」を実施しました。また、市民が豊かな学びの中から地域のまちづくりに関心を持ち、参加するきっかけづくりとなる学びの場としての「まちの担い手養成講座」を実施しました。

#### 〈スキルアップ講座〉

- ・7月27日 基本を学ぶ 伝わるチラシ作成講座  
(講師) 穂積幸弘氏 (NPO 法人やさしいデザイン) (参加者) 17人
- ・10月1日 できることからスタートする  
まちづくり活動の企て方  
(講師) 仲野優子氏 (草津市協働コーディネーター)  
事業団職員 (参加者) 4人
- ・10月8日 まちづくり活動に活かす! 助成金活用  
(講師) 遠藤恵子氏 (NPO 法人まちづくりネット東近江) (参加者) 6人

#### 〈まちの担い手養成講座〉

- ・8月29日 子どものためのアトピー講座  
(講師) 松本公平氏 (薬剤師) (参加者) 12人
- ・2月18日 データが語る草津の真実 (リアル)  
(講師) 事業団職員 (参加者) 7人
- ・3月5日 「なまず」さんに聞く  
みんなで取り組む“気楽な”防災  
(講師) 太田久子氏  
(たかしま災害支援ボランティアネットワークなまず)  
\*新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止 (事前申込) 9人

### ② くさつまち・ひとサロン

(仮称)市民総合交流センターへの移転を見据えた市民交流の一環として、まちづくりに関心を持つ市民が気軽な対話の中から、実践者間の交流や新たなまちづくり活動の創出につながることを目的に「くさつ まち・ひとサロン」を実施しました。

- ・ 8月2日 “いざ” という時の “いざ” を少し体験  
 (話題提供者) 岩佐卓實氏 (NPO 法人しがいち防災研究所) (参加者) 14人
- ・ 9月6日 世界はいろいろ、文化もいろいろ  
 (話題提供者) 留学生2人 (草津市国際交流協会会員) (参加者) 19人
- ・ 10月4日 思春期の実情～子どもと関わる団体から  
 (話題提供者) 徳地正典氏 (NPO 法人 Field of Dreams)  
 脇野千恵氏 (まちの保健室ちむちむ)  
 大学生3人 (草津市BBS会) (参加者) 9人

## 才. まちづくりに関する活動支援および資金助成

### ① ひとまちキラリ（助成・活動賞）

これまでの「ひとまちキラリ助成」を実情に合わせて見直し、新たな制度として立ち上げ期とステップアップの2部門で提案を募集し、採択団体を決定しました。採択団体には令和2年度からの活動に対し、資金援助だけでなく、活動への助言や広報支援など、活動状況に応じた伴走型サポートを実施します。

また、市域や地域で地道に活動する団体を表彰する「イキイキ活動賞」も市内事業所からの寄付金をいただきながら実施し、パワフル交流・市民の日にて授賞式を行いました。

#### ○ひとまちキラリ まちづくり活動助成

〈“はじめの” いっぽ部門：採択〉 \*立ち上げ・伴走型助成 (応募団体数) 8団体

- ・ JAGUAR の部屋
- ・ キラリ・ウィンド・ポップス

〈“そのさき” いっぽ部門：採択〉 \*ステップアップ助成 (応募団体数) 10団体

- ・ NPO 草津手をつなぐ育成会よかサボ
- ・ 将太郎クラブ
- ・ 鳩が森 麺の会

〈立ち上げ支援部門〉 \*従来の助成制度

(1年目の団体) \*すべて次年度への継続助成を決定

- ・ まちの保健室「ちむちむ」
- ・ 特定非営利活動法人しがいち防災研究所
- ・ Code for Kusatsu

(2年目の団体)

- ・ CH 北山ヘアカット研修会滋賀支部
- ・ spring

#### ○ひとまちキラリ イキイキ活動賞

〈「いいね！地元の力」部門〉 (応募団体数) 2団体

- ・ 駒っ子の会 (笠縫東学区 駒井沢)
- ・ ボランティアグループ「泉」 (志津南学区 若草)

〈「なるほど！市民活動の力」部門〉 (応募団体数) 4団体

- ・ 環境ボランティア  
 草津湖岸コハクチョウを愛する会

## ② まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務

「地域まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務」を市から受託し、まちづくり協議会の経理・税務・労務に関する日常業務に係るサポートや情報ネットワーク環境の整備・保守業務を行うとともに、事業団のノウハウやネットワークを活かしながら会計・税務・労務以外にもまちづくり協議会への各種サポートを展開しています。

また、今年度は2期目の地域まちづくりセンター指定管理に向けた次期サポート体制について市と調整を行い、引き続き事業団が実施することとなりました。

### <まちづくり協議会 研修・相談会>

7月 3日 社会保険算定基礎届・

    労働保険年度更新事務手続き等相談会 (参加) 9学区 14人

8月 7日 ネットワーク関連サポート業務説明会 (参加) 13学区 21人

10月 2日 会計個別相談会 (参加) 3学区 5人

10月 9日 会計個別相談会 (参加) 4学区 6人

11月 20日 年末調整セミナー (参加) 13学区 20人

1月 15日 決算セミナー (参加) 12学区 25人

### <まちづくり協議会 各種サポート>

・渋川 渋川の歌製作委員会への参加と草津アートセンターとのコーディネート

・矢倉 映画づくりにおいて、草津アートセンターとのコーディネート

・笠縫 まちづくり計画の見直しサポート

・笠縫東／山田 寄植え講座実施に伴う草津市公園事務所とのコーディネート

## 力。その他、各種団体との協働事業の推進

### 【各種団体との協働事業および各種研究会等への委員派遣等】

#### <委員会等参加>

- ・草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会（まちづくり協働課）
- ・災害支援市民ネットワークしが研究会（認定特定非営利活動法人しがNPOセンター）
- ・草津市地域まちづくりセンター運営会議（まちづくり協働課）
- ・市民活動センター意見交換会（県内中間支援センター）
- ・渋川小エコスクール支援委員会（草津市立渋川小学校）
- ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練検討委員会（草津市社会福祉協議会）

#### <講師派遣>

- ・同志社大学大学院「地域力再生実践論研究」

#### <視察受け入れ>

- ・長浜市 市民活躍課
- ・大津市 自治協働課

#### <事業協力・資料提供>

- ・みんなでトーク（草津市）
- ・新入学児童記念撮影事業（草津市青年会議所）
- ・草津市立小学校社会副読本「わたしたちの草津」（教育研究所）

「登録団体と創るもっと元気な草津のまちー市民公益活動の活性化を目指してー」の運営理念のもと、多くの市民に利用いただく中間支援センターとして、より親しみやすい運営に努めています。センター全体の今期の利用実績は、利用件数 7,352 件、利用者数 126,194 人で利用料金は 18,126 千円となりました。

3 月の新型コロナウイルス感染症の影響で利用件数、利用者数は前年度に比べ約 6% 減少しました。利用料金は前年度並みを維持しました。

#### ① ふらっとサロンのさらなる有効活用

ふらっとサロン全体の活用実績は 35 件で 951 人に参加いただきました。このうち、キッズスペースを中心に行っている「子育て支援ママ・コミュニティ」は計 18 回実施し、657 人の方々が参加されました。また、登録団体をはじめ一般団体に呼びかけた展示会（書道、押し花、パッチワーク、フラワーデザイン展）にも多くの参加があり、交流を深めました。このほか、感動を受けた絵本のメッセージをもとに読んでいただく「市民がつなぐ、旅する絵本」コーナーにも多くの寄贈本をいただき、親しんでいただきました。

#### ② アウトリーチ事業の展開

市民公益活動の裾野を広げる目的で、登録団体が地域の福祉施設や病院などに出向いて活動を紹介する「アウトリーチ事業」は、のべ 22 団体、191 人が参加し、地域の活性化につなげることができました。

#### ③ まちの情報局

草津市の動きやさまざまな分野で活躍する市民紹介コーナー「ガンバッテル草津市民」はタイムリーなまちの情報を来館者に提供しています。一階ロビーにはスタート時の平成 25 年 4 月からの情報を検索できるタブレットを配置し、情報の発信機能を高めました。

#### ④ まちづくりセンター運営協議会事務局

草津市民と草津市、コミュニティ事業団の三者で構成する「まちづくりセンター運営協議会」には 57 団体が参加し、中間支援組織としての機能を高めています。

#### ⑤ 市民公益活動の日の実施

センターの休館日に、公益的な活動を行っている市民団体に対して施設の一部を貸し出す「市民公益活動の日」の実施状況は 4 日間、4 団体、65 人の方々に利用いただきました。

#### ⑥ 草津コミュニティ支援センターのサポート

公設市民館として自主運営されている「草津コミュニティ支援センター」についても安全管理を徹底し、サポートにあたりました。





## ⑦ まちづくり機器の貸出

地域コミュニティの活性化を支援するため実施しているまちづくり機器の貸し出しについては、29種類の機器を212団体に533台を貸し出しました。前年同期に比べ利用件数は10%減少しました。ここ数年、町内会イベントや模擬店の縮小、機器を購入するなどの団体が増える傾向が見られ、令和3年の（仮称）市民総合交流センターへの移転を機に、機器の整理を検討しています。

令和元年度 まちづくり機器利用明細（利用実績）

月	台数	イカ焼き	おでん鍋	カステラ焼き	たこ焼き	鉄板焼（卓上）	鉄板焼（脚付）	とうもろこし	フライヤー	みたらし団子	串焼き	コンロ	大型鍋	寸胴鍋	アイスクリーム
4月	2					1									
5月	10			1	1	2					1		1		
6月	8			1											
7月	90			7	6	7	3	11			2	1	1	2	
8月	163			10	23	21	5	7	2		2	1	2	4	
9月	50			1	3	9		5	2		4	2	2	2	
10月	85	2		11	14	10	1	3			2	8	1	8	1
11月	87			13	5	12	1	5			10	2	12	2	
12月	20								1	1					
1月	17			1				1			4	1	2		
2月	1														
3月															
合計	533	0	2	1	45	54	59	10	33	5	5	29	9	28	9
前年度	594	1	1	3	50	66	55	6	27	2	5	36	13	34	8
前年比	90%	0%	200%	33%	90%	82%	107%	167%	122%	250%	100%	81%	69%	82%	113%

月	かき氷	ホットショーケース	フランクフルト	ポップコーン	わら菓子	延長コード	アイスボックスタ	保冷コンテナ	冷凍庫	もちつき	抽選器	ビンゴ	アナウンスセット	けん玉	竹馬
4月							1								
5月					1			2		1					
6月		1		1	1		2		1				1		
7月	17	2	1	7	7	2	6	6	2						
8月	36	6	1	10	12		10	5	4	2			37		
9月				1	4		4	2	5	2	2				
10月		6	3	6			5	3			1		5	3	
11月		5	1	5	7		3	1	2			1	20		
12月		2	2	3	1					9	1				
1月										7	1		10		
2月										1					
3月															
合計	53	22	3	29	41	3	31	19	14	18	4	5	2	72	3
前年度	74	19	4	35	36	12	33	16	16	24	4	7	4	66	25
前年比	72%	116%	75%	83%	114%	25%	94%	119%	88%	75%	100%	71%	50%	109%	12%

\*台数合計には「けん玉・竹馬」の数量は含みません

## 2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業

### (1) 長寿の郷ロクハ荘

(執行済額／予算額 52,797/54,705 千円)

平成30年度から2年間の指定を受け、最終年度になり、今年も「健康長寿くさつ」を目指す「アクティブ・オープン・プレイス」と位置付け、引き続き適正な管理運営を行いました。次の4つを運営方針と定め、事業を取り組むとともに、ロクハ健康プロジェクトとして「びわ湖くさつ はつらつ CLUB」と「健康バンド講座」を中心に運営を行いました。

コロナウイルス感染予防のため、3月3日から臨時休館となり、全館閉鎖という過去にない事案が発生しました。

今期の施設全体の利用者数は、延べ53,803人となり、前年対比で96%、また温浴施設の利用者数は、延べ28,821人、前年対比で96%と入館者数と比例した推移となりました。平成30年度は、二度に渡る漏水工事による温浴施設の休止や悪天候の影響でイベント事業の中止、2日間の臨時休館があったため、前年対比では大幅な減少に至りました。今期の利用料金は3,955千円となり、前年対比で39千円減収となっています。

コロナウイルス感染予防による長期間の施設閉鎖が今後の利用状況に影響する可能性があり、常連利用者の施設離れ対策や新規利用者の獲得が今後の課題となります。

#### ① 健康で長生きすることを目指した事業の展開

日頃の健康状態をチェックする「健康なんでも相談」を定期的に開催し、講演会・測定会・相談等、多様なニーズに合わせて実施しました。ロクハイきいき百歳体操は、ロクハ荘事業とした平成28年1月から起算して参加累計4,000人の到達見込みにあわせて長寿いきがい課と記念講演を予定していましたが、コロナウイルス感染予防の為、中止となりました。

毎月26日に実施しているお風呂の日のイベントは、利用者の意見を取り入れ実施しました。夏季期間の水風呂、冬季期間のゆず風呂が大変好評でした。

〈健康で長生きすることを目指した事業〉	実施回数	参加者
・健康なんでも相談(医療講演・骨密度測定会等)	計 13回	延べ 221人
・ロクハイきいき百歳体操	計 42回	延べ 1,111人
・風呂の日・しょうぶの湯	計 13回	延べ 1,190人

#### ② 多世代が集う生きがいあふれる生活創出の支援

連携先の拡大を図り、公園事務所、志津まちづくりセンター、草津市国際交流協会(KIFA)、JAくさつ、CH北山、草津青年会議所、草津市社会福祉協議会、草津総合病院、志津健康推進委員会、立命館大学、各企業メーカー等の協力のもと、多種多様な事業が可能となり、盛況に展開することができました。

7月からは、旬菜館ロクハ事業として新鮮野菜販売で地産地消への取り組みを開始し、地域の活性化、地域とのつながりづくりへと発展いたしました。

〈多世代が集う生きがいあふれる生活創出〉	実施回数	参加者
・講座	計 26回	延べ 424人
アウトドア料理講座		
味噌作り講座 他		
・イベント	計 27回	延べ 3,421人
縁波祭、旬菜館ロクハ～野菜販売～ 他		

### ③ 集い、学び、結ぶコミュニティの創出

コーラス・ギターに分かれて学ぶG I N L A L Aによる音楽コラボ隊を実施し、アミカホールで地域の音楽サークルと一緒に発表をしました。その後、ギター講座は同好会へと発展し、令和2年度より継続して活動することとなりました。

カラオケ大会やバスツアーは、日頃より利用者から多数の問い合わせがあり人気事業でしたが、3月の臨時休館のため中止となり、楽しみにしていたのに残念という意見も頂きました。

〈集い、学び、結ぶコミュニティの創出〉	実施回数	参加者
・講座 音楽コラボ・はじめてのパソコン教室 他	47回	463人
・イベント マッチの会バスツアー・カラオケ大会 他	24回	664人

### ④ 介護予防の実践と啓発につながる事業

健康プロジェクトとして、平成30年度から実施している駆け付け講座に加え、今期からお出迎え講座もスタートしました。早期に締め切ることとなった駆け付け講座の要望に応え、7月に新たに職員1名が音楽健康指導士の資格を取得しました。

年々、参加者が増えてきたスポーツボイス講座を子育て世代を含めた多世代へ拡大するため、草津市立まちづくりセンターでも15回連続講座を開催しました。年度末にはスポーツボイスフェスを企画しましたが、コロナウイルス感染予防のため、やむを得ず中止となりました。今後も参加者の意欲にお応えできるよう、新たな形で展開していきます。

〈健康プロジェクト〉	実施回数	参加者
・健康バンド	44回	延べ728人
・スポーツボイス(自主練習)	9回	延べ202人
・スポーツボイス(まちづくりセンター)	14回	延べ217人
・スポーツボイス(ロクハ荘)	14回	延べ651人
・お出迎え講座	6回	延べ116人
・駆け付け講座	21回	延べ540人





### 3. 環境及び公園緑地等に関する事業

#### (1) ロクハ公園等

(執行済額／予算額 54,089／57,077千円))

令和元年度は、事業団並びに草津造園協同組合と(株)サンアメニティが指定管理の共同体を構成して2年目となり、プロとしての責任を負った安全管理のもと、地域の皆さんと協力して市内各公園の維持管理、公園緑化活動や自然環境に触れる事のできる快適な場所の提供を行いました。

ロクハプールの運営では、プール内でイベントを開催し集客に努めるとともに、プールや駐車場の混雑緩和対策として夏季営業時間の30分前倒しや、遊泳の休憩時間の5分短縮など快適な運営のための対策を講じましたが、前年度に比し7月の日照時間の減少など天候不順と平均気温の3度下降など低気温が大きく影響し、総入場者数については対前年比13%減となりました。

特に7月実績では、入場者数が12,387人減、利用料金も5,649千円の減収となり、対前年同月比が56%と大きく落ち込みましたが、他の月が概ね前年を上回ることができたため、対前年比は入場者数が87%、利用料金は94%に留めることができました。

各種団体との連携協力では、10月5日に開催した緑波祭において、社会福祉協議会主催の「ボランティアフェスティバル」、草津青年会議所主催の「SOAフェスティバル」、コミュニティ事業団主催の「緑化フェア、ロクハ感謝祭」を合同で開催する新たな試みを行った結果、天候にも恵まれ約1万人の来場者でロクハ公園に大きな賑わいを創出しました。

##### ① ロクハプールに関する事業 (構成員 (株)サンアメニティ)

前年に引き続き、屋外プールを6月29日(土)から9月1日(日)まで期間延長してオープンしました。7月15日(月)の海の日を草津市民半額DAY、また7月22日(月)はロクハ公園駐車場を無料開放にするなど、草津市民をはじめとする利用者還元に努めました。

また、秋の緑波祭では幼児プールと25メートルプールを利用して、カヌーやピックnickラ体験を開催し、夏期以外のプール利用により新たな賑わいを創出しました。

##### ② 公園維持管理に関する事業 (構成員 草津造園協同組合)

公園や緑地の依頼や苦情については、市・公園緑地課や地元町内会と立会・調整のうえ適切に対応しました。また、緊急を要する事案については、専門技術を有する草津造園協同組合とともに現場確認等を行うなど、柔軟で迅速な対応に努めました。

##### ③ 「私たちの公園づくりサポートセンター」による、町内会などボランティア支援とガーデニングに関する事業

5月に市役所で行われた町内会長全体説明会に、環境・緑化貸出し機器の展示やチラシ、申請書の配布を行いました。また、地元で公園ボランティアを立ち上げられている所に出向き、花苗を植える等の作業を協働で行いました。さらには、まちづくり協議会からの要請を受け、まち協職員の方の協力のもと寄せ植えやハンギングバスケットの講習会を実施して受講者に高評価を得ることができました。

##### ④ 環境学習に関する事業やロクハ荘と連携した事業

7月の天候不順によりカブトムシが羽化する時期が遅れ、カブトムシ観察小屋の初日は成虫が5匹と少ない中でのスタートとなりました。カブトムシの個体数は全体的に少なかったものの、来場者は延べ3,478人と前年を上回り、特に7月15日のプール市民半額DAYでは、1日で300人を越え過去2番目に多い来場者数となりました。

また、ロクハ公園とロクハ荘の魅力を活かした両施設連携イベントとして、春季はロクハGWフェアを開催し約2,500人の来場者がありました。夏季では「ロクハ夏の縁日サンデー」と題し、ロクハ公園の職員がロクハ荘に出向いて連携し、約1,600人の利用者に楽しんでいただきました。

12月には毎年恒例で特に子どもに大人気の落ち葉プールを開催しました。毎年、良質な落ち葉を集めることが困難で、落ち葉収集には苦労しましたが、ロクハ公園の他、市内の公園施設から落ち葉を回収し、適切に衛生管理を行って2千人弱の来場がありました。併せて、落ち葉プール期間中に「お花を植えよう！」や「しおり作り」を開催し、来場者自らの作品をお土産としてお持ち帰りいただくなど、ガーデニングのきっかけづくりをしました。

実施日	参加者
4月 29日	約 3,000 人
5月 5日	延べ 300 人
5月 12日	59 人
7月 13日～8月 18日 (前年度)	延べ 3,478 人 (延べ 3,296 人)
8月 4日	21 人
10月 3日	約 10,000 人
12月 7日～26日	延べ 1,932 人

令和元年度 ロクハ公園プール等利用実績

月	プ　　一　　ル　　入　　場　　者　　数　　(人)														
	大　　人			高校生・大学生			小　　学　　生・中　　学　　生			幼　　兒			合　　計		
	嵐	夜	計	嵐	夜	計	嵐	夜	計	嵐	夜	計	嵐	夜	計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	295	36	331	5	0	5	291	43	334	131	2	133	722	81	803
6	1,040	120	1,160	12	4	16	898	64	962	527	15	542	2,477	203	2,680
7	5,699	0	5,699	188	0	188	7,380	0	7,380	2,300	0	2,300	15,567	0	15,567
8	15,823	0	15,823	588	0	588	14,349	0	14,349	5,379	0	5,379	36,139	0	36,139
9	1,029	112	1,141	14	9	23	542	55	597	423	22	445	2,008	198	2,206
合計	23,886	268	24,154	807	13	820	23,460	162	23,622	8,760	39	8,799	56,913	482	57,395
前年度	25,763	1,549	27,312	905	196	1,101	26,992	1,163	28,155	9,140	445	9,585	62,800	3,353	66,153
前年度比	93%	17%	88%	89%	7%	74%	87%	14%	84%	96%	9%	92%	91%	14%	87%

※令和元年 6/29～9/1 9:30～18:00営業の為夜間無し





## 4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

### (1) 文化ホール

(執行済額／予算額 71,695／82,301千円)

「“あなたしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、豊かな文化の創造に寄与するため、子どもから大人まで多くの市民に喜んでいただける事業を展開するとともに、貸館については、安全で安心して快適にご利用いただけるようサービスの質の向上を意識した管理運営を行いました。

クレアホール施設全体の利用件数は2,011件となり前年と比べ5%増えました。その中でもホールが118%、展示ホールが108%と伸びています。また、アミカホール施設全体の利用件数は1,480件となり、前年と比べ6%増えました。

#### ア. 鑑賞型事業

##### ① ウィークエンドコンサート（アミカホール・クレアホール）

アミカホール、クレアホールのそれぞれのホールの特性を活かし、地元出身アーティスト支援～全国区で活躍するアーティストの里帰りコンサートをプロデュースしました。

<アミカウィークエンドコンサート>	実施日	参加者
・武田可奈美・中村歌奈 ピアノ・オルガン Duo	9月 21日	168人
・スペシャル企画 ～作曲家 新垣隆をゲストにむかえて～稻垣 聰（ピアノ）&宮本妥子（打楽器・マリンバ）スプリングコンサート	3月 7日	中止

特別ゲスト：草津吹奏楽団 ほか（クレアホール）

##### <子育て支援 クリスマスコンサート>

・いっしょにあ・そ・ぼ コンサート	12月 12日	600人
アートセンターが市と連携し、就園前のこどもと家族を対象にしたファミリーコンサートを開催。子育てをしながら 赤ちゃん連れでも参加できるママウインドオーケストラ「おとのわ」と地元出身の声楽家によるコンサートを制作。		

##### ② クレア企画展（展示ホール）

女性陶芸家の草分け的存在である神山清子氏（信楽在住）の作品展を『信楽寸越窯 神山清子・賢一親子展』と題して実施しました。

<信楽寸越窯 神山清子・賢一親子展>	実施日	参加者
作品展示	8月 14日～	2,152人
	9月 5日	
Skypeによる渋川小学校との連携事業	8月 29日	
記念 Jazz コンサート	9月 1日	346人

##### ③ 市民がつくるクレアロビーコンサート

市民プロデューサー育成事業として地元ジャズバンド「サウンドフリーク」を中心に演奏の輪を広げました。

実施日	参加者
6月22日	150人
8月24日	150人
9月21日	100人
12月8日	120人
＜市民がつくるクリアロビーコンサートスペシャル＞	
立命館大学ジャズクラブが中心にプロアーティスト ～地元のジャズバンドをゲストに迎えたフェスティバルの開催	10月6日 528人

## イ. 次世代育成（クリアホール）

### ① 劇団四季 ファミリーミュージカル公演『はだかの王様』

日本を代表するミュージカル劇団のファミリーミュージカル公演を実施しました。

実施日	参加者
8月11日	700人

### ② ワクワク子どもの広場 クレア一日アート体験2019

クリアホール全館を2日間開放し、夏休み期間中の親子の交流や様々な体験の機会をきっかけに、ホールでの「子どもから大人まで楽しめる絵本の世界」や「いっしょにあそぼ！ファミリーコンサート」などを通し、文化芸術に触れていただきました。

実施日	参加者
8月 3日	1,350人
8月 4日	1,650人

### ③ワクワク子どもの広場関連事業

実施日	参加者
5月 12日	1,400人(700人2回)

### ④ クリア劇場 天使の歌声コンサート

実施日	参加者
6月 1日	661人

### ⑤ クリア劇場 クリスマスコンサート

実施日	参加者
12月22日	696人



## ウ. 普及啓発

### ① 草津アートセンター（クレアホール・アミカホール）

市民のための文化振興の窓口として、舞台芸術プロデュース、アーティストのコーディネート、クレアホールを拠点とした音楽・演劇・舞台芸術に関する情報収集および助言等の各種支援を行いました。学区の歌づくりや、小学校の芸術鑑賞会などのアウトリーチ事業も実施しました。

〈事業プロデュース/アーティスト支援/コーディネート/アウトリーチ〉

支援団体	概要
まちづくり協議会	・渋川学区（地域の歌づくり支援） ・矢倉学区（地域映画製作支援）
市関係 他	・草津宿場まつり市役所前ステージ参加 4/28（草津歌劇団出演） ・矢倉小学校芸術鑑賞会実施 5/29 （オリジナルオペレッタ「青花紙のうた」） ・玉川小学校芸術鑑賞会 6/13 （一流アーティストによる打楽器アンサンブル） ・子育て支援コンサート 7/5 （サマーフェスティバル in アミカ セタコンサート） ・障害のある人もない人も おでかけコンサート 3/15（中止） ・劇団四季 こころの劇場 1/7 小学6年生を対象に劇団四季ファミリーミュージカル『カモメに飛びことを教えた猫』の公演市内 11 校6年生と教師 約 1,200 人が鑑賞
その他団体	・立命館大学インターンシップの受け入れ 文化コーディネーター育成プログラム（FMくさつ市民パーソナリティー ほか 番組制作プログラム体験を実施）
情報発信	アートセンターニュース発行（毎月発行） えふえむ草津 『月刊アートセンター』（毎月放送）

### ② リラックスパフォーマンス事業

（草津市文化振興計画 13万人の文化プロジェクト試験実施）

市民企画提案事業として『音楽の祭典』を開催しました。

\*リラックスパフォーマンス事業とは…草津市において平成 30 年3月に草津市文化振興計画が施行され、3 つの重点プロジェクトが設定されました。平成 31 年度は、試行期間として、13 万人の文化プロジェクトの一部をクレアホールの展示ホールで実施しました。

\*13万人の文化プロジェクト…重点プロジェクト③リラックスパフォーマンス（障害等を理由に、通常の劇場環境に馴染むことが困難な方がよりリラックスした環境で鑑賞を楽しめるよう配慮した公演を行う）

〈リラックスパフォーマンス事業〉  
・ホモサビエンス かがやくいのち展

実施日  
6月 19 日～23 日



## 工. 創造事業

### クレア舞台芸術学校 草津歌劇団4期生（クレアホール）

〈クレア舞台芸術学校 草津歌劇団4期生〉  
草津みずの森 express ~ここは クレア高原~  
草津歌劇団4期生を募集し、オーディションに参加した小  
学3年生から中学2年生までの42人が、オリジナルミュ  
ージカル『草津みずのexpress』とミュージカルショー『ぼ  
くの大好き草津』の公演に向けて宝塚歌劇団演出家中村  
暁、花園麻里（元宝塚歌劇団）を講師に迎え、歌唱、芝居、  
ダンス、バレエ等の練習に取り組みました。  
また、期間中依頼公演オリジナルミュージカル『ヒメ神さ  
まに出会った！』を制作ほか『びわ湖ホールアートフェスティ  
バル2020』『出会いの街草津』等 多数出演しました。

## 才. 市民協働事業

### クレアプラスフェスティバル（クレアホール）

〈第4回 クレアプラスフェスティバル〉  
市内の中学、高校、大学、一般吹奏楽団、ジャズバンドが  
一堂に会するフェスティバル。1年生と社会人によるフレッ  
シュマンバンド、2~3年生と社会人によるシニアバンド合  
同演奏も毎年参加者が増えています

## ＜その他 市指定事業＞

・草津市民文化祭 (草津市文化協会主催、事業団共催) 草津市文化協会加盟団体と公募団体による発表 の場と交流を目的に実施。	実施日 9月28日 ～29日	参加者 1,187人
・第35回草津市民音楽祭 市内で活躍する音楽団体の発表と交流の場として開催。最後 に出演者による合同演奏『クレアで会いましょう』が恒例と なり舞台と客席が一体となるプログラムが好評。市民音楽祭 としての開催は最後となるが、引き続き市民が集う場の提供 は継続予定。	10月13日	798人
・第28回 草津市合唱祭、同合唱講習会 合唱祭にむけて合同合唱の練習 草津市合唱祭参加団体より参加	12月1日、 1月17日 2月6日	120人
・第28回 草津市合唱祭 公募団体による実行委員会制	3月20日	中止

令和元年度 草津クレアホール利用実績

	ホール			リハーサル室			練習室1			練習室2		
	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率
4月	22	4,697	42%	34	1,088	62%	20	271	54%	20	116	38%
5月	8	1,728	15%	26	742	59%	11	116	33%	7	41	19%
6月	22	3,515	35%	50	1,136	85%	19	234	35%	16	163	42%
7月	35	4,305	56%	38	1,057	72%	20	209	60%	14	118	36%
8月	27	4,738	44%	46	1,600	78%	27	405	52%	27	593	59%
9月	34	5,411	56%	31	1,042	56%	28	269	60%	26	352	60%
10月	39	5,963	68%	30	1,542	64%	30	756	64%	19	249	44%
11月	48	6,350	73%	51	1,627	92%	42	432	81%	33	280	62%
12月	39	4,398	70%	30	1,039	57%	20	255	43%	24	312	52%
1月	35	3,655	65%	30	1,232	61%	31	431	78%	25	337	61%
2月	45	4,800	88%	23	2,322	56%	25	587	60%	22	518	52%
3月	4	827	12%	5	36	19%	5	37	19%	4	21	12%
合計	358	50,387	52%	394	14,463	63%	278	4,002	53%	237	3,100	45%

前年度	304	52,787	50%	386	15,252	67%	298	4,872	60%	246	4,775	45%
前年比	118%	95%	105%	102%	95%	94%	93%	82%	89%	96%	65%	98%

	和室			展示ホール			活動室			その他		合計	
	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	件数	人数
4月	20	265	54%	16	1,787	31%	9	146	24%	0	0	141	8,370
5月	22	164	44%	17	801	33%	5	63	33%	0	0	96	3,655
6月	15	85	50%	43	1,095	85%	10	130	85%	1	180	176	6,538
7月	16	86	48%	24	1,212	52%	14	144	28%	0	0	161	7,131
8月	17	60	44%	43	2,369	81%	21	721	41%	1	200	209	10,686
9月	19	232	48%	45	3,790	92%	18	302	28%	1	150	202	11,548
10月	16	130	44%	41	2,311	84%	15	683	32%	0	0	190	11,634
11月	37	115	65%	44	1,365	88%	18	209	31%	0	0	273	10,378
12月	10	77	39%	18	1,175	39%	19	235	48%	1	120	161	7,611
1月	14	73	43%	27	1,121	65%	38	276	65%	0	0	200	7,125
2月	15	414	40%	36	2,101	68%	15	449	40%	0	0	181	11,191
3月	3	15	12%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	21	936
合計	204	1,716	44%	354	19,127	60%	182	3,358	38%	4	650	2,011	96,803

前年度	253	2,156	57%	329	20,088	56%	斜線	斜線	斜線	12	519	1,922	103,532
前年比	81%	80%	78%	108%	95%	107%	斜線	斜線	斜線	33%	125%	105%	94%

※その他はホール諸室に該当しないロビー等の利用件数・人数を計上しております。（例：ロビーコンサート）

令和元年度 草津アミカホール利用実績

	ホール			リハーサル室			文化教室1			文化教室2			研修室			合計	
	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数	稼働率	件数	人数
4月	30	2,989	62%	32	389	65%	26	435	58%	14	156	35%	13	492	27%	115	4,461
5月	18	1,295	31%	27	419	56%	30	441	59%	17	229	37%	19	638	37%	111	3,022
6月	20	1,757	42%	32	305	88%	33	590	77%	20	194	54%	19	627	46%	124	3,473
7月	34	2,719	62%	35	462	73%	25	339	58%	27	226	58%	14	468	27%	135	4,214
8月	13	1,355	24%	22	345	44%	23	366	56%	31	540	59%	28	526	52%	117	3,132
9月	23	1,910	40%	32	374	65%	28	279	54%	33	250	54%	48	1,250	73%	164	4,063
10月	27	1,737	42%	33	567	62%	25	307	62%	20	130	46%	27	786	54%	132	3,527
11月	27	2,340	50%	38	386	69%	35	585	81%	20	171	54%	33	995	69%	153	4,477
12月	19	1,385	35%	41	392	91%	31	445	57%	20	239	48%	30	826	61%	141	3,287
1月	19	1,455	44%	27	344	70%	29	421	61%	17	159	44%	25	991	48%	117	3,370
2月	18	1,067	35%	34	359	76%	30	392	64%	12	173	32%	28	619	64%	122	2,610
3月	11	88	17%	13	30	50%	11	143	39%	7	112	12%	7	135	19%	49	508
合計	259	20,097	40%	366	4,372	67%	326	4,743	60%	238	2,579	44%	291	8,353	48%	1,480	40,144
前年度	259	24,491	48%	373	4,010	68%	322	4,810	61%	209	2,347	47%	238	7,307	44%	1,401	42,965
前年比	100%	82%	84%	98%	109%	98%	101%	99%	98%	114%	110%	94%	122%	114%	109%	106%	93%



## (2) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、次のスポーツ施設の運営および維持管理を行いました。今年度より新たに株式会社コナミスポーツを指定管理者の構成団体として加え、互いの持つ経験やノウハウを活かし協力体制のもとに施設の管理運営や各種スポーツ事業等を通して、市民相互の心れあいと地域連携意識の高揚に努め、『みんなが スポーツ大好きなまち くさつ』の実現に向けて“ALL くさつ”の一翼を担うことを目的に事業の展開を図りました。

### <指定管理者としての管理施設>

- ① 草津市立総合体育館
- ② 弹正公園（草津グリーンスタジアム、弾正テニスコート、多目的広場）
- ③ 草津市立野村運動公園（グラウンド）
- ④ 草津市立ふれあい体育館・運動場
- ⑤ 草津市立武道館
- ⑥ 草津市立三ツ池運動公園（芝生グラウンド、テニスコート）
- ⑦ 野村公園 YMTC アリーナ（くさつシティアリーナ/7月1日より一般利用開始）

施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう施設の維持、管理業務の充実を図るとともに、施設予約状況確認システムやホームページ「草津市スポーツ情報」の運用により施設環境の充実を図りました。併せて、新しくオープンした YMTC アリーナでの「にぎわい創出事業」についても草津市内の各種団体と協力しながら実施していくための「にぎわい創出検討会議」の事務局を担い、「大規模集客事業等の特別な承認に関する要綱」を取りまとめました。

利用者に対して公平・公正に努め、関係団体との連携を強化し、各種サービスの向上に努めました。また、スポーツ事業については、草津市スポーツ推進計画に掲げられている基本方針に沿って、子どもの体力向上やスポーツ活動の推進、施設開放事業などによる生涯スポーツの推進、さらに(公社)草津市スポーツ協会や各種団体などが実施するスポーツイベントへの積極的な関与による地域コミュニティによるスポーツ文化の推進や競技スポーツの推進に寄与しました。

新型コロナウィルス感染防止対策として、消毒液の設置や換気対策などを行い感染症防止に努めました。2月27日以降は、草津市の指示による利用自粛の呼びかけ、使用料の全額還付等の対応を行うとともに、自主事業を中止する等の対応を行いました。





## 5. その他

### (1) 事業団ファンクラブ

(執行済額／予算額 736／920千円)

事業団が取り組む様々な活動に協力・支援していただくファンクラブ「まち活マッチの会」は発足から6年目となり、これまでに延べ860人を超える方々に会員になっていただきました。今年度も施設ごとに会員特典を工夫し勧誘活動を積極的に行いました。

また、事業団の情報発信としてLINE@のアカウント「まち活マッチの会」を有効活用し、定期的なメッセージ発信で各施設のイベントへの集客に繋げています。

さらに、「まち活マッチ」のノベルティグッズの配付や販売を行うことで、事業団の周知に努めました。

・まち活マッチの会	人数
・ファンクラブ 会員数	159人
・LINE 友だち登録数	459人
・LINE メッセージ配信数	22回



### (2) コミュニティ放送公益活用推進

えふえむ草津に経営参加し、コミュニティの活性化や市民活動の情報支援、行政情報や防災・安全情報の発信など、ローカルメディアの役割を担うツールとしてのコミュニティFMの発展に寄与してきました。

#### ① 地域情報の充実

平日朝夕の生放送に「いきいき草津」のコーナー等を設け、草津市関連情報を発信するとともに、放送局内での情報共有のためのスタッフ専用サイトを設置し、地域情報の収集とデータベース化を行いました。また、草津市が発行する「広報くさつ」を音声で届ける「声の広報」のラジオ版、CD版、オンデマンド版を配信するなど、新たな取り組みをスタートさせて地域情報の充実を図りました。

(地域情報に関連する新番組)

- ア. 声の広報
- イ. ぐるっとまち歩き～草津道中～
- ウ. 意外と知らない草津の歴史
- エ. スマートウェルネス草津
- オ. あすくる草津～中谷所長のちょっとe-talk～

#### ② 生涯学習関連情報の充実

学びの地域支援講座をオンデマンドで配信すると共に、「俳句のまち草津」推進の一助となるよう新番組「俳句5-7-Go！の時間」を放送するなど、生涯学習関連情報の充実を図りました。

(生涯学習に関連する新番組、他)

- ア. 「俳句5-7-Go！の時間」
- イ. 草津市青少年の主張大会（オンデマンド）

### ③ 視聴率向上に向けての取り組み

地域の行事や市民参加型の放送を行うことによって、地域に根差して市民に愛される番組づくりを行うとともに、都市型難聴に対応するためのサイマル放送やオンデマンド配信等の充実を図りました。さらに、情報誌「湖南フリモ」への連載記事やホームページ、番組表の発行等によってメディアミックス（複数のメディアを活用して効果を高める手法）やクロスメディア（コンテンツを複数メディアで活用する手法）による効果を図りました。

（まちづくり情報提供番組）

- ア. 「くさつ☆コミュニティ Tea Time!!」
- イ. 「月刊くさつアートセンター」

（地域行事等連携、市民参加型放送）

- ア. 「みんなでつくろうコミュニティ FM」 （9月8日収録）
- イ. 選挙関連報道
  - 「草津選挙区滋賀県議会議員に聞く」 （5月7日～9日放送）
  - 「市議会議員選挙開票速報」 （9月9日放送）
- ウ. 「てくてく ゆめほんじん」 （9月14日放送）
- エ. 「市民がつくるクレアロビーコンサート」 （6月22日、8月24日、9月21日収録）
- オ. 特別インタビュー
  - 神山清子さん（8月22日）、新庄真一さん（8月20日）
- カ. 第7回大路区民まつり
- キ. 「草津小市」でのコイチラヂオ （12月14日放送）

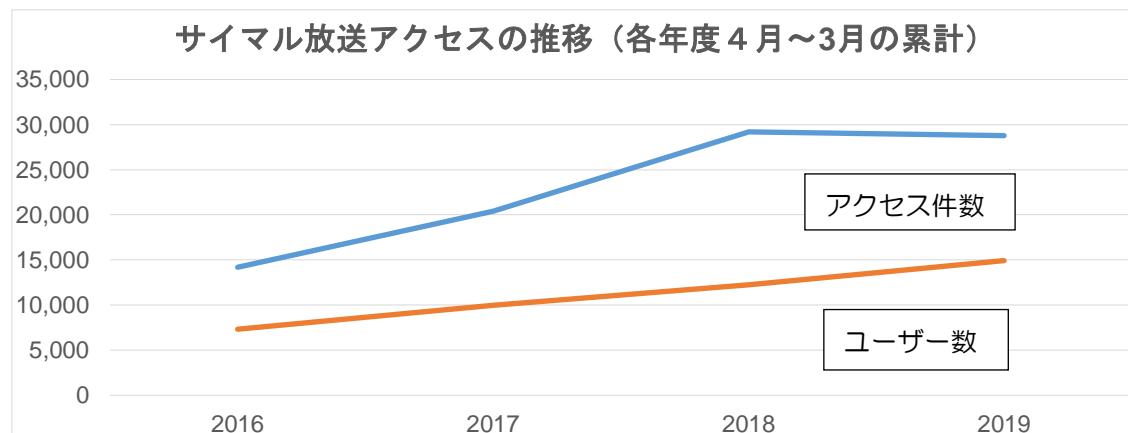
（メディアミックス・クロスメディア、他）

- ア. 情報誌「湖南フリモ」との連携
- イ. オンデマンド配信の充実
- ウ. 番組表の発行（番組内容の掲載等）
- エ. サイマル放送の配信方法変更による改善

### ④ 防災ラジオ機能の強化に向けての取り組み

「災害時等放送計画（案）」を作成するなど、災害時におけるコミュニティFMの役割を果たすための体制づくりを進めました。

年度	アクセス数	ユーザー数
2016	14,189	7,320
2017	20,417	9,975
2018	29,196	12,254
2019	28,787	14,925



## II 収益等事業

### 1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付隨する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として、公共施設の適正な管理等を行いました。

#### (1) 道の駅草津駐車場

---

「道の駅草津」駐車場の運営管理を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の文化、歴史、名所などの紹介や地元産物の販売など、県内外からの利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、まちづくり振興の一助となるよう適正な管理を行いました。

#### (2) まちづくりセンター貸館

---

市民活動の推進に寄与するために運営している市立まちづくりセンターの一般貸館を行いました。一般貸館は市民活動団体の利用の妨げにならないよう、センター3階部分を中心に行いました。

#### (3) ロクハ荘、クレアホール、アミカホール、ロクハ公園等、各施設の維持管理

---

ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クレアホールやアミカホールおよびロクハ園等の修繕や維持管理を、より一層の経費節減に努めながら適正に行いました。